病院名	北上済生会病院
研修科目名	呼吸器科

◇　研修目的

当院呼吸器科の患者内訳は、３割が高齢者の嚥下障害を伴う肺炎であり、また肺癌、膠原病の症例が２割から３割、その他呼吸器疾患が４割である。当科の基本的な方針は、診断から治療管理まで手技を含めて全てできることを目標としている。このため人工呼吸器装着から呼吸リハビリ・LTOT・BIPAPまでの管理、抗がん剤化学療法から緩和ケアなど一つの科で幅広い知識と技術を習得できるのが特徴である。

内科的診断アプローチや治療方針の立て方の実践能力の獲得を目的とし、その上に立って呼吸器学、特にCOPDや間質性肺炎を中心に総合的に研修し、より幅広い内科的知識や技術を習得しつつ全人的医療を実践できることにある。

◇　ＧＩＯ（一般目標）

呼吸器病学・免疫・アレルギー病学において頻度の高い疾患について外来及び病棟での対応を学ぶ。

◇　ＳＢＯｓ（個別行動目標）

１．重症度及び緊張度の把握ができる。
２．診断のための検査計画を立て、実行できる。
３．治療方針、処置や手術適応を決定し、実行できる。
４．退院の決定時期やその後の治療について、決定できる。
５．担当医師とともに、一次二次救急でプライマリ・ケアに参加する。

◇　教育に関する行事

	午前	午後
月	胸部合同カンファランス 病棟回診	病棟回診
火	人間ドック(腹部Ｅｃｈｏ／ＧＴＦ) 病棟回診	病棟回診
水	外来診察	気管支鏡検査
木	病棟回診	気管支鏡検査・気道過敏性検査 ＣＴガイド生検
金	その他手技(Ｅｃｈｏ／ＧＴＦ／胃瘻造設) 病棟回診	その他手技（ＣＶ／胸腔ドレーン） 病棟回診

※ 症例検討　第４水曜日

◇　研修評価

診察・診療（医療面接を含む）、手技及び処置の研修評価を指導医が評価し、また
科内症例検討会での発表を参考に指導医が研修の総合評価を行う。

◇　研修方法

（１）外来：　指導医の指導のもとで外来診療を行い、診断法・治療法を研修する。
また、適宜指導医と当直を行い緊急時の救急外来対応を経験する。

（２）病棟：　指導医の指導のもとで、入院患者の担当医として自覚を持って研修にあたる。

（３）カンファレンス等：　各種カンファレンス、集談団、回診、学会、研究会に参加し、
プレゼンテーション・ディスカッションを行う。

（４）学会発表等：　臨床研修は基礎的臨床能力の習得を旨とするが、指導医の指導のもとで
学会発表、論文作成し投稿できる。

◇平成27年度指導責任者及び指導医

呼吸器科指導責任者　小　川　純　一